

5. 姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル基本計画

5-1. 姫路港旅客ターミナルエリアの課題

①交通結節点としての利便性・快適性の欠如

- ・ポートセンタービル自体が古く旧耐震基準であるため耐震対策が必要
- ・旅客船ターミナルも築 29 年が経過し老朽化が進行
- ・ポートセンタービルと旅客船ターミナルといった類似した施設が分散
- ・駐車場が分散しており乗船場から遠いうえピーク時には不足
- ・駐輪場が不足し飾万津臨港公園に雑然と駐輪
- ・ポートセンタービルがバス停と乗船場の動線上になく乗船場まで遠い
- ・ロータリーが手狭でハイシーズンは待機車両が溢れ歩車が輻輳し安全な乗降に支障
- ・ポートセンタービルはトイレが少なくエアコンがない
- ・券売案内がわかりにくく待機列が錯綜

②貨物と旅客が混在

- ・クルーズ船寄港時に見物客と貨物が輻輳
- ・旅客船ターミナル 1F が倉庫利用され物揚場まで遠く貨物車両が長距離を往来
- ・物揚場や貨物船の係留施設が手狭

③クルーズ旅客の受入れ環境が不十分

- ・クルーズ船の係留位置が旅客ターミナルから遠く、旅客船ターミナルでの受け入れができておらず雨天時のおもてなしに支障
- ・クルーズ旅客に対応した設備が不足（無料公衆無線 LAN 等）

④にぎわいが不足

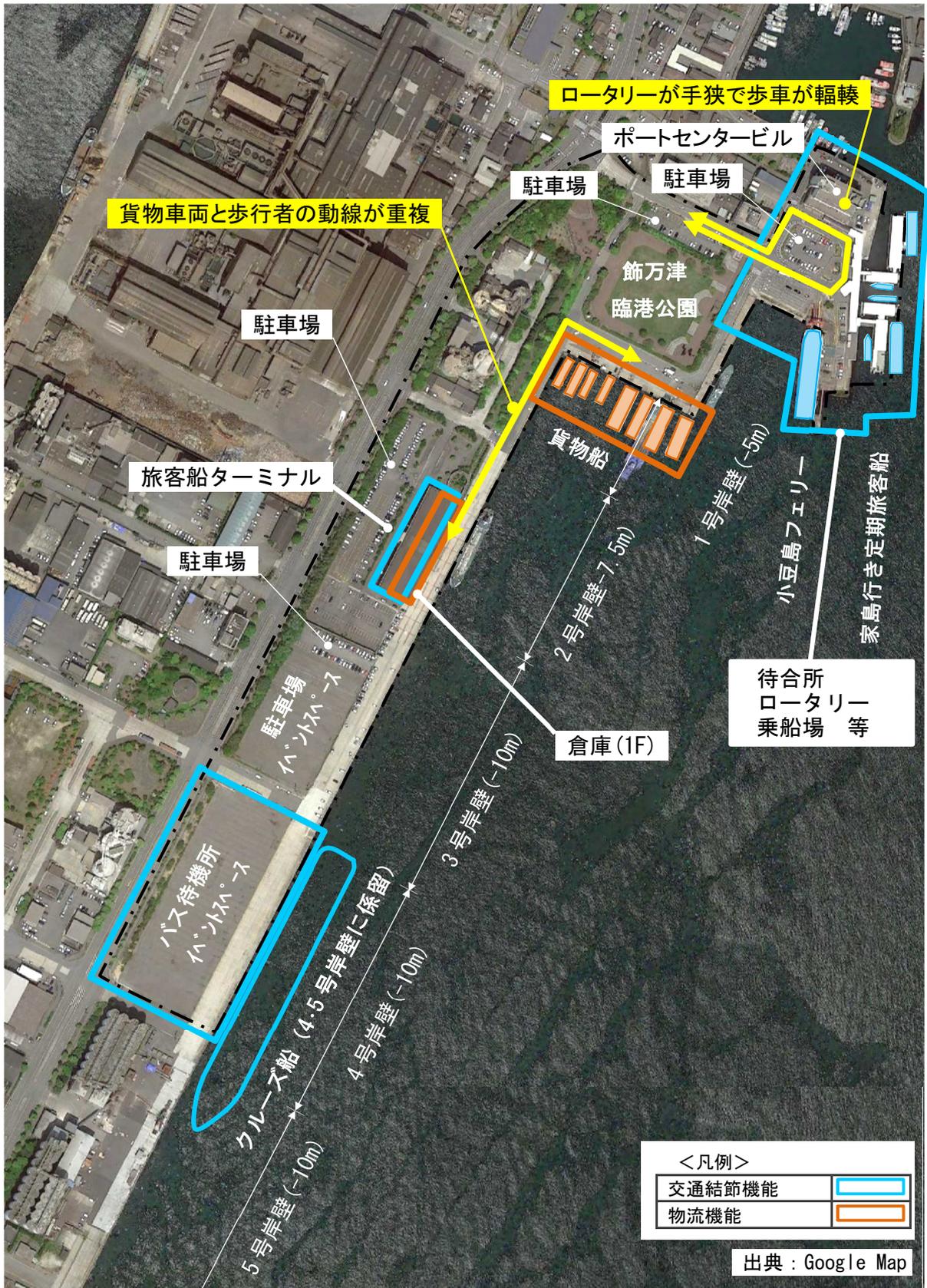
- ・現状の機能では物足りない
- ・家島、小豆島などの観光案内や瀬戸内の特産品などの情報発信が不十分
- ・みなとミュージアムの利用が低調

⑤水辺空間としての日常利用が低調

- ・飾万津臨港公園前は物揚場であり水辺に近づけない
- ・ゴミが散乱し人々が憩える水辺空間とは言い難い
- ・貨物車両などが自由に岸壁を往来

⑥海の玄関口として港景観形成がなされていない

- ・都市部の港としては殺風景で港自体が暗い
- ・周辺に工場が建ち並び海の玄関口としての第一印象が良くない
- ・貨物用のパレット等が景観を阻害



姫路港旅客ターミナルエリアの現状

5-2. 関連計画からの要請

①都市構造・土地利用

- ・姫路市の中核となる南北都市軸の強化
- ・姫路市南部における商業・業務の副核の強化
- ・国道 250 号と並行する緩衝緑地以南を臨海工業地として位置づけ

②交通

- ・家島～姫路駅の移動の速達性向上
- ・副核である飾磨駅を中心とした交通ネットワークの充実
- ・離島航路の利用者拡大と航路事業の効率化

③観光

- ・地域の魅力を活かした「滞在型観光」の推進(エコツーリズム、産業ツーリズム等の推進)
- ・インバウンド観光の推進（クルーズ船の誘致、外国人観光客の誘致等）

④交流

- ・港や海に親しむ機会の創出
- ・姫路市の臨海部に人のにぎわいと魅力ある交流の場の創出（親港拠点）

⑤産業振興

- ・大規模物流に対応できる姫路港の機能強化
- ・積極的なポートセールスの推進

5-3. 姫路港旅客ターミナルエリアの目指すべき方向性

当該エリアが抱える課題や関連計画からの要請を踏まえ、姫路港旅客ターミナルエリアの目指すべき方向性を定める。

姫路港旅客ターミナルエリアが目指すべき方向性

①交通結節点の快適性・利便性の向上

現に旅客が往来している交通結節点の機能を強化し、快適性・利便性の向上を目指す。

②効率的な機能配置による貨物と旅客の棲み分け

施設の移転・集約を図ることで、貨物と旅客の棲み分けの実現を目指す。

③クルーズ旅客受入れ環境の強化

クルーズ旅客受入れ時の輻輳などの課題解消や旅客の快適性の向上など受入れ環境の強化を目指す。

④魅力的な機能導入によるにぎわいの拠点づくり

人のにぎわいと魅力ある交流の場を創出するため、新たな機能を導入することで、臨海部におけるにぎわいの拠点づくりを目指す。

⑤集い憩える快適で魅力的な水辺空間の創出

港や海に親しむ機会を創出するため、人々が憩い楽しめる場となる、魅力的な水辺空間の創出を目指す。

⑥姫路港の玄関口としてふさわしい良好な港景観の形成

クルーズや瀬戸内諸島への旅客に好印象を与える良好な港景観の形成を目指す。

5-4. 導入機能の抽出・分類

リニューアルにおいて導入する機能の検討にあたり、中心的な施設となる旅客船ターミナル及びその周辺について、姫路港と乗降客数が同程度の港が備えている機能を抽出し、基本的な機能と付加的な機能に分類する。

(1)機能の抽出

駐車場や待合室などのターミナル機能は、旅客輸送のための基本的な機能として、どの港でも有している。

また、売店・コンビニなどの商業機能、喫茶・軽食、食堂・レストランなどの飲食機能、公園・広場などのレジャー・レクリエーション機能もほとんどの港で付加的な機能として有している。

その他の文化・交流機能、スポーツ機能、宿泊機能は港によって様々である。

一方、姫路港では、これらの機能の他に、クルーズ旅客船受け入れのためのクルーズ機能、家島諸島への物資輸送や隣接企業の荷役のための物流機能がある。

■乗降客数が同程度の港における主な機能

機能 港名	乗降客数 (千人)	ターミナル		商業	飲食	レジャー・レクリエーション				文化・交流		スポーツ		宿泊		備考										
		乗降場	駐車場	乗船券売場	待合室	トイレ	売店・コンビニ	スーパ	喫茶・軽食	食堂・レストラン	公園・広場	展望スペース	温泉	海水浴場	レンタルサイクル		レンタルボート	事務所	会議室	ミュージアム	グラウンド	体育館	テニスコート	ホテル	旅館	
ながす 長洲港 (熊本県)	915	●	●	●	●	●	●	●	●																	
たいら 多比良港 (長崎県)	915	●	●	●	●	●	●	●	●																	
よこすか くりはま 横須賀港(九里浜地区) (神奈川県)	900	●	●	●	●	●	●	●	●			●								▲	▲	▲				スポーツ機能:東京電力敷地内
はまかなや 浜金谷港 (千葉県)	889	●	●	●	●	●	●	●	●				●						●							
とまこまい 苫小牧港 (北海道)	886	●	●	●	●	●	●	●	●							●	●	●								
ひめじ 姫路港 (兵庫県)	880	●	●	●	●	●	●	●	●							●	●	●		●						
もろさき 師崎港 (愛知県)	860	●	●	●	●	●	●	●	●															●		
たけとみひがし 竹富東港 (沖縄県)	860	●	●	●	●	●	●	●	●				●													
くれ 呉港 (広島県)	811	●	●	●	●	●	●	●	●							●	●									
めばるさき 鯉崎港 (広島県)	769	●	●	●	●	●																		●		
あかし 明石港 (本港地区:ジェノバライン) (兵庫県)	705	●	●	●	●	●			●																	

※乗降人員:「数字でみる港湾2017(船舶乗降人員ランキング2015年)」(発行:(公社)日本港湾協会)

(2)機能の分類

当該エリアへの導入機能として、抽出した機能を「基本機能」と「付加機能」に分類する。基本機能は交通結節点として不可欠なことから導入する。付加機能は、姫路港旅客ターミナルエリアが目指すべき方向性を踏まえ、導入候補を検討する。

【当該エリアにおける機能の分類】

○基本機能：交通結節点として不可欠な機能

ターミナル機能 ⇒約 90 万人の旅客利用に対応

物流機能 ⇒家島諸島への貨物輸送利用に対応

クルーズ機能 ⇒クルーズ旅客船の利用に対応

○付加機能：「目指すべき方向性」を踏まえ、導入候補を検討する

商業機能

飲食機能

レジャー・レクリエーション機能

文化・交流機能

スポーツ機能

宿泊機能

■姫路港に現有する機能及び乗降客数が同程度の港が有している機能の分類

機能		分類		
		姫路港	基本機能	付加機能
ターミナル機能	係留	有	○	
	乗降	有		
	駐車	有		
	駐輪	有		
	券売	有		
	待合	有		
	トイレ	有		
商業機能	売店・コンビニ	有		○
	スーパー			
飲食機能	喫茶・軽食	有		○
	食堂・レストラン			
レジャー・レクリエーション機能	公園・広場	有		○
	展望スペース			
	温泉			
	海水浴場			
	レンタルサイクル			
	レンタルボート			
文化・交流機能	事務所	有		○
	会議室	有		
	ミュージアム	有		
スポーツ機能	グラウンド	有		○
	体育館			
	テニスコート			
宿泊機能	ホテル			○
	旅館			
	宿泊所	有		
クルーズ機能	係留	有	○	
	乗降	有		
	駐車	有		
	おもてなし	有		
物流機能	係留	有	○	
	倉庫	有		
	野積	有		

5-5. アイデア募集

リニューアル基本計画の検討にあたり、旅客ターミナルエリアに整備すべき施設（導入すべき機能）についてアイデア募集を行った。以降に募集要項及び結果を示す。

1) 募集要項

①募集期間

平成29年9月28日（木）～10月11日（水）

②募集内容

計画対象地に整備する施設、導入すべき機能など

⇒ 例) 「□□を整備すればいいのでは」「○○の機能が必要」

③対象者

- ・定期旅客船利用者（小豆島、家島諸島（家島・坊勢島・男鹿島・西島）への旅客船利用者）
- ・姫路市内に居住する方
- ・姫路市内に通勤、通学されている方
- ・姫路市内で事業活動や市民活動をされている方

④提案方法

- ・ファックス
- ・郵送
- ・メール
- ・県ホームページから入力
- ・ポートセンタービルと家島観光プラザに回収箱を設置

2) 集計結果

今回のアイデア募集により、38人より56件のアイデアが寄せられた。

回答者の属性：定期旅客船を利用する人（22人、34件）・・・(A)

定期旅客船を利用しない人（8人、13件）・・・(B)

未記入（8人、9件）・・・(C)

■アイデアの内容

(単位:件)

No	提案項目	具体的な内容と件数	属性別の件数内訳			計
			(A)	(B)	(C)	
1	駐輪場	通勤通学者や一般の人が利用できる駐輪場を整備して欲しい(11件)	10		1	11
2	海産物・特産品	とれとれ市場・海産物の販売コーナー等(4件)、地元の特産品を活かした食堂やレストラン(1件)、共通点(醤油・素麺・紅葉等)が多い龍野と小豆島の交流拠点(1件)	4	2		6
3	駐車場	駐車場が不足している(4件)、駐車料金が低い(1件)	4	1		5
4	環境美化・景観改善	一般客、釣り客、周辺の労働者が気持ちよく利用できるよう、駐車スペース・ゴミ捨て場・進入可能(禁止)エリア等の明確化や整備(1件)、ゴミ箱の設置・清掃業者の導入(1件)、アプローチのタイル貼り・植栽等による明るい色彩の取り入れ(1件)	3			3
5	軽食・カフェ	喫茶コーナー又は簡単な食事ができるところ(2件)、海が眺められるカフェ(1件)	2	1		3
6	券売	切符の買い方がわかりにくい(2件)、各島への船の共通券が欲しい(1件)	2		1	3
7	観光情報の発信・充実	家島のパンフレットがない(1件)、インフォメーションセンターが欲しい(1件)、全体にもう少し観光色を出して欲しい(1件)	2		1	3
8	ユニバーサルデザイン	子供連れ、高齢者にも利用しやすいトイレやゆったりとくつろげるスペース等(2件)、身体の不自由な人でも使いやすいトイレやエレベーター(1件)		1	2	3
9	みなとミュージアムの改善・充実	資料や知育コーナーを増やしてほしい(1件)、みなとミュージアムと待合室の一体化(1件)	2			2
10	歴史・文化情報の発信・充実	伝統文化を紹介できる施設を整備(1件)、銀の馬車道を活かしたPRの充実(1件)		2		2
11	レジャー施設	子供の遊び場、子供をターゲットにした集客施設(2件)		1	1	2
12	乗降場	安全な観光バスの乗降場が必要(1件)	1			1
13	クルーズ	大型船が入港の際に必要なタグボートの基地(1件)	1			1
14	公園の緑化	芝生と四季折々の花や木々であふれる公園(1件)		1		1
15	スポーツ施設	多目的スポーツコートを整備しては(1件)		1		1
16	リゾート施設	姫路城を訪れる観光客を対象とした宿泊施設・温泉等		1		1
17	商業施設	アウトレットを取り扱う店舗(1件)		1		1
18	展望施設	ポートセンター6Fを展望施設に			1	1
19	アクセス	姫路駅からのシャトルバスが必要(1件)	1			1
20	その他	分煙対策(2件)、ATMがあれば便利(1件)、ポートセンターの耐震対策工事(1件)、ポートセンターの建替え(1件)	2	1	2	5
合計			34	13	9	56

5-6. 目指すべき方向性実現に向けた取組方策

目指すべき方向性の実現に向けた取組方策を以下に示す。

目指すべき方向性	取組方策
①交通結節点の快適性・利便性の向上 ②効率的な機能配置による貨物と旅客の棲み分け ③クルーズ旅客受入れ環境の強化	I 基本機能の改善
④魅力的な機能導入によるにぎわいの拠点づくり	II 付加機能の導入
⑤集い憩える快適で魅力的な水辺空間の創出 ⑥姫路港の玄関口としてふさわしい良好な港景観の形成	III 魅力的なみなと空間の形成

(1)取組方策 I :基本機能の改善

委員会での意見

- A) ハイシーズンは路上駐車が増加。乗用車、観光バス、路線バス、観光客、団体の学生などが輻輳。クルーズ船寄港時は、岸壁上は駐車車両、見物客、家島方面への生活物資の貨物移動が輻輳。導線の見直しが必要
- B) 動線検討やゾーニングの変更により機能性が高まれば集客も見込めるのでは
- C) 駐車場の料金が高い。旅客船ターミナルの駐車場から乗船場まで遠い
- D) ポートセンタービルは老朽化しているため建て直すことが適当

アイデア募集

- a) 駐輪場を整備して欲しい。駐車場が不足している。駐車料金が高い
- b) 安全な観光バスの乗降場が必要
- c) 一般客、釣客、周辺の労働者が気持ちよく利用できるようエリアの明確化
- d) ポートセンタービルの耐震化・建て替え
- e) 大型クルーズ船入港の際に必要なタグボートの基地
- f) 子供、高齢者、身体の不自由な方など誰もが使いやすいトイレ、エレベーター
- g) 乗船券の買い方がわかりにくい、各島への船の共通券が欲しい
- h) 分煙対策をきちんとしてほしい

①交通結節点の利便性・快適性の向上

- ア) 分散しているターミナル機能の集約（既存施設の有効活用）
- イ) 駐車場の集約、臨時駐車場の確保
- ウ) 駐輪場の整備
- エ) バス・乗用車・タクシー等の安全な乗降場の確保
- オ) ユニバーサルデザインに配慮した施設整備（ゆったりトイレ、分かりやすい案内表示等）

②効率的な機能配置による貨物と旅客の棲み分け

- カ) 旅客と貨物の分離及び動線の改善（短縮、明確化）

③クルーズ旅客の受入れ環境の強化

- キ) 旅客船ターミナルでのクルーズ旅客の受入れ
- ク) クルーズ旅客に対応した設備の整備（無料公衆無線 LAN、スマホ等の充電設備等）

(2)取組方策Ⅱ：付加機能の導入(にぎわい施設の導入)

委員会での意見

- A) 定期船旅客・市民やその周辺の人たちが、普段使いとして利用する場所。地元可愛さ地元が自慢できる場所。水辺空間の魅力を感じられ、子供連れから高齢者まで幅広い人が憩える空間
- B) 観光情報の充実を図り、瀬戸内のサイクリング需要や魅力的な道の駅のような地域の特色を活かした、憩い・味わい・楽しめる施設
- C) 事業性の有無も含めて早い段階で民間の意見を聴取
- D) 中長期的な取組としてセメント工場の移転を検討

アイデア募集

- a) とれとれ市場・海産物の販売コーナー等、海産物や特産品を活かした施設
- b) 簡単な食事ができるところ、海を眺められるカフェ
- c) 観光情報の発信・充実
- d) みなとミュージアムの改善・充実
- e) 歴史・文化情報の発信・充実
- f) 公園の充実、レジャー施設、スポーツ施設、リゾート施設、商業施設、展望施設



④魅力的な機能導入によるにぎわいの拠点づくり

- ア) 新たなにぎわい施設を旅客船ターミナルを中心としたエリアに配置。事業性の有無を含めて民間企業の意見を聴取。定期船旅客やクルーズ旅客などの港を利用する人に加え、地元可愛さ、市民やその周辺住民などお年寄りから子供連れまで多くの人が「味わえる」「買える」「憩える」「楽しめる」を導入。
- イ) にぎわい施設に隣接する耐震強化岸壁（４号岸壁）の背後地（災害時の緊急物資の荷さばき地）は、平常時にイベントスペース等として一体的に活用する。
- ウ) みなとミュージアムは待合所の近くに配置し利用を促進、観光情報や歴史・文化情報の充実を図り瀬戸内の玄関口としての魅力を向上
- エ) セメント工場は中長期的に機能導入を検討する候補地とし「将来の検討対象用地」とする。

《付加機能の導入例》

- ・水辺空間の魅力を活かす(例：海や船を眺めることができるレストラン・カフェなど)
- ・家島など地元産の海産物や特産品を活かす(例：地元海産物や特産品の直売所・土産物屋など)
- ・家島や小豆島など瀬戸内の観光資源を活かす(例：瀬戸内のサイクリストのための交流施設・宿泊施設など)
- ・姫路市や姫路港の歴史・文化・産業を活かす(例：体験型工場博物館など)

(3)取組方策Ⅲ:魅力的なみなと空間の形成

委員会での意見

- A) 飾磨港は暗い
- B) 公園が雑然としていている。
- C) 旅客船ターミナルが倉庫として利用されており、作業用車両、パレット等が景観を阻害している
- D) ウォーターフロントとして楽しめる空間にしてはどうか
- E) 高齢者が集えるような居心地のいい空間があってもいい

アイデア募集

- a) 一般客、釣り客、周辺の労働者が気持ちよく利用できるようエリアの明確化
- b) ゴミ箱の設置、清掃業者の導入
- c) アプローチのタイル張り、植栽等により明るい色彩の取り入れ



⑤憩い集える快適で魅力的な水辺空間の創出

- ア) 貨物動線の移転による人々が海に近づける水辺空間の創出
- イ) 水際線の憩い空間であるプロムナードの整備と車両通行の規制

⑥姫路港の玄関口としてふさわしい良好な港景観の形成

- ウ) 旅客ターミナルの外観、プロムナード舗装など陸域からのみならず海上からの見え方も意識した玄関口としてふさわしい景観の創出
- エ) 視線を引きつけ周辺工場の印象を緩和する連続した植栽の整備

5-7. 機能配置のイメージ

機能配置の考え方

交通結節機能の集約

- 交通結節機能（定期船・フェリーさん橋、バス・タクシー乗り場、駐車場、クルーズ船の乗船場等）を旅客船ターミナルに集約

物流機能の移転

- 物流機能（貨物物揚場、荷さばき地、貨物倉庫）を現ポートセンタービル周辺に集約

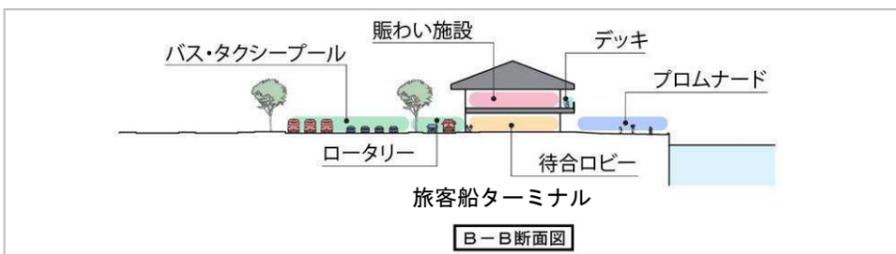
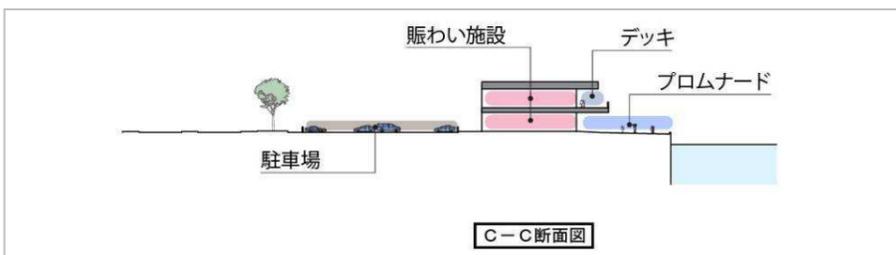
にぎわいの施設の導入

- 新たなにぎわい施設を旅客船ターミナルを中心としたエリアに配置
- にぎわい施設に隣接する耐震強化岸壁（4号岸壁）の背後地（災害時の緊急物資の荷さばき地）は、平常時にイベントスペース等として一体的に活用。

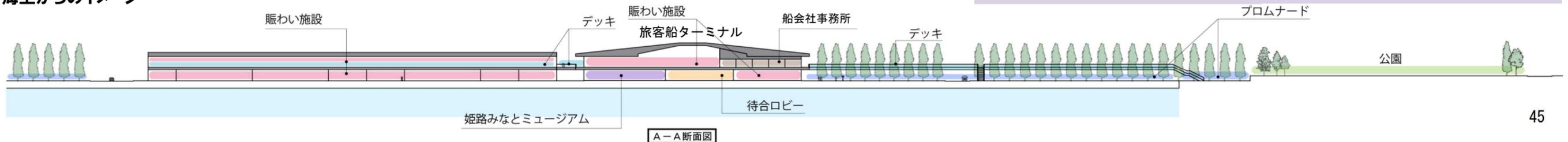
魅力的なみなと空間の形成

- 水際にプロムナードを配置
- にぎわい施設から飾万津臨港公園間に展望デッキを配置
- 臨港道路沿いには植樹を行い緑の連続性を確保
- セメントサイロ前に高木を植樹

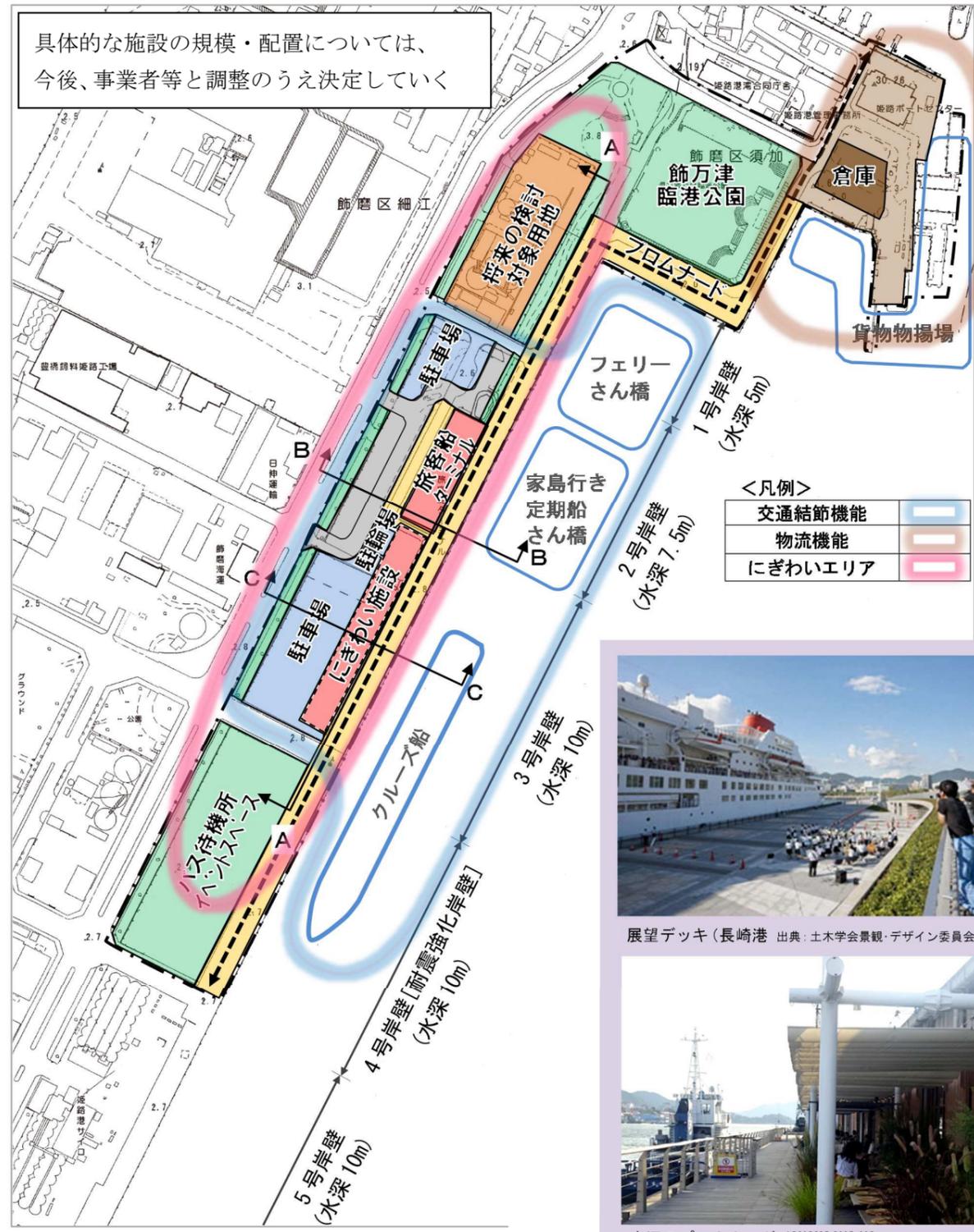
施設断面イメージ



海上からのイメージ



具体的な施設の規模・配置については、今後、事業者等と調整のうえ決定していく



<凡例>

交通結節機能	赤色
物流機能	黄色
にぎわいエリア	緑色

にぎわい施設の導入例



6. リニューアル実施にあたっての留意事項

- 1) 地元の人が集え、子供や子供連れ家族が楽しめるなど、地元で愛される場所にしていくことが必要。また、施設整備にあたっては高齢者や障がい者への配慮が必要。
- 2) 付加機能（にぎわい施設）は、ニーズの変化や時代の移り変わりなどに柔軟に対応できるようにしていくことが必要。
- 3) 民間が参入しやすいよう整備前の早い段階から民間事業者の意見を聞くことが必要。
- 4) 「妻鹿漁港フィッシュモール」や「網干じばさんひろば魚吹津」など、周辺の既存施設に対しては競合を回避するとともに役割分担する等共存共栄を図ることが必要。
- 5) 旅客ターミナルエリアに来やすくなるよう、交通事業者への要請や施設整備などによる多様な交通手段を確保することが必要。

【例】

- 公共交通でのアクセスについては、姫路駅からのバスアクセスの増強、循環バスの運行など。
- 車でのアクセスについては、十分な駐車場の確保、利用しやすい料金設定など。
- 自転車でのアクセスについては、安全なルート整備、コミュニティサイクルの活用など。